

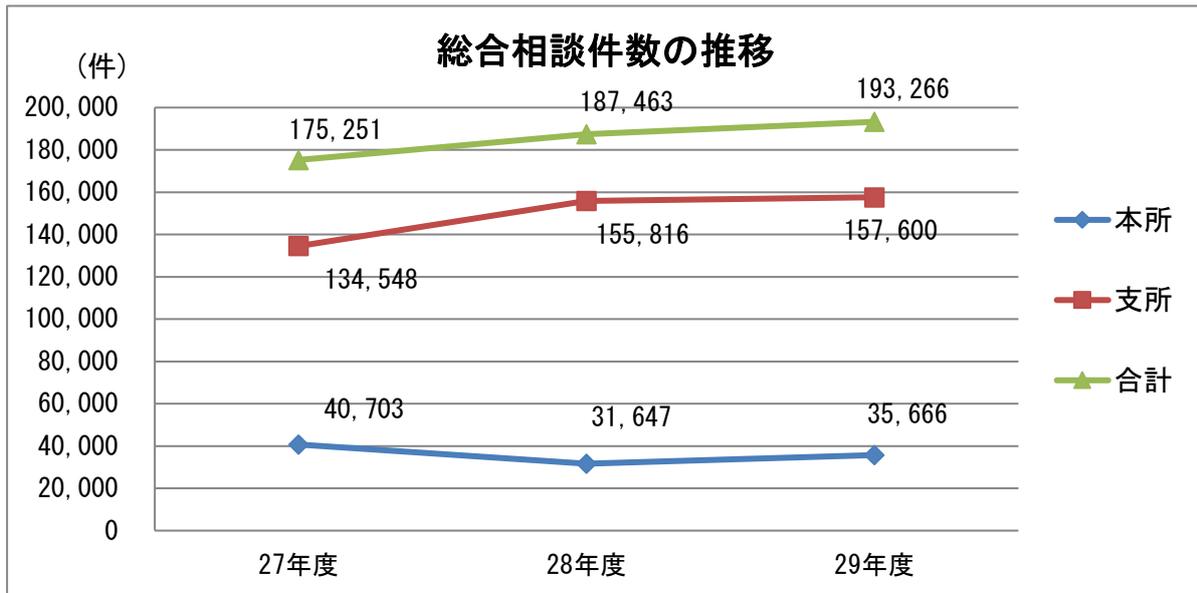
平成 30 年 11 月 19 日

高齢施策担当部高齢者支援課

## 平成 29 年度練馬区地域包括支援センター事業実績について（報告）

## 1 総合相談件数の推移 ※延べ件数

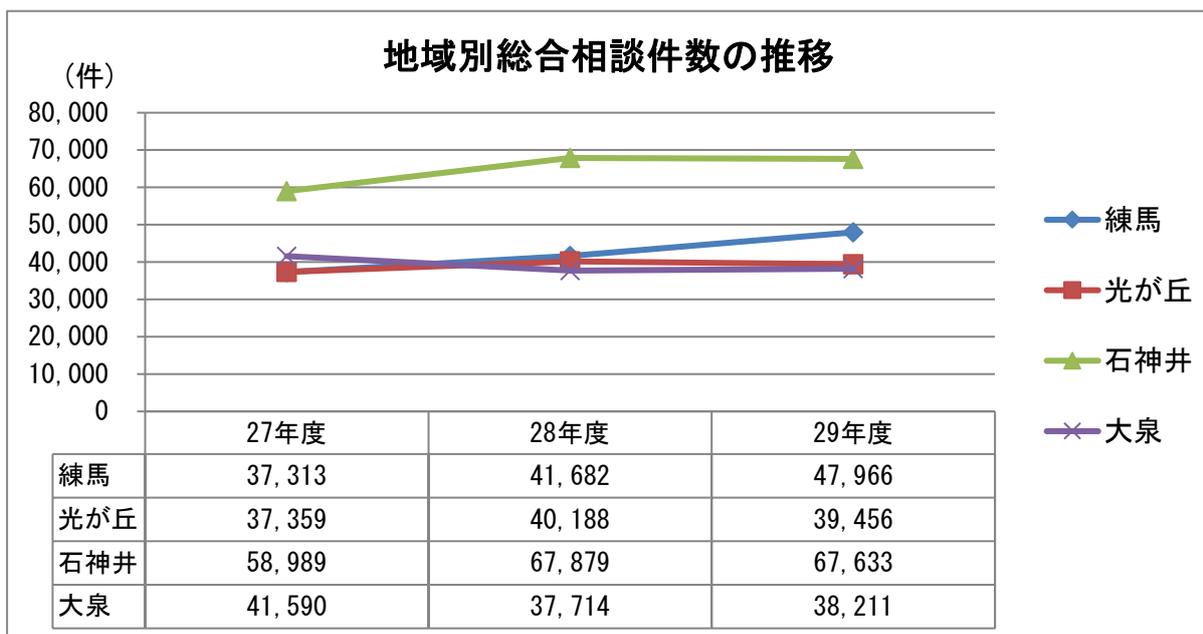
平成 29 年度の総合相談件数は、本所・支所合計 193,266 人で、前年度より 5,803 人増加した。



平成 30 年度上半期の地域包括支援センター25 か所の相談件数は、79,644 件であった。

## 2 地域別総合相談件数の推移 ※延べ件数

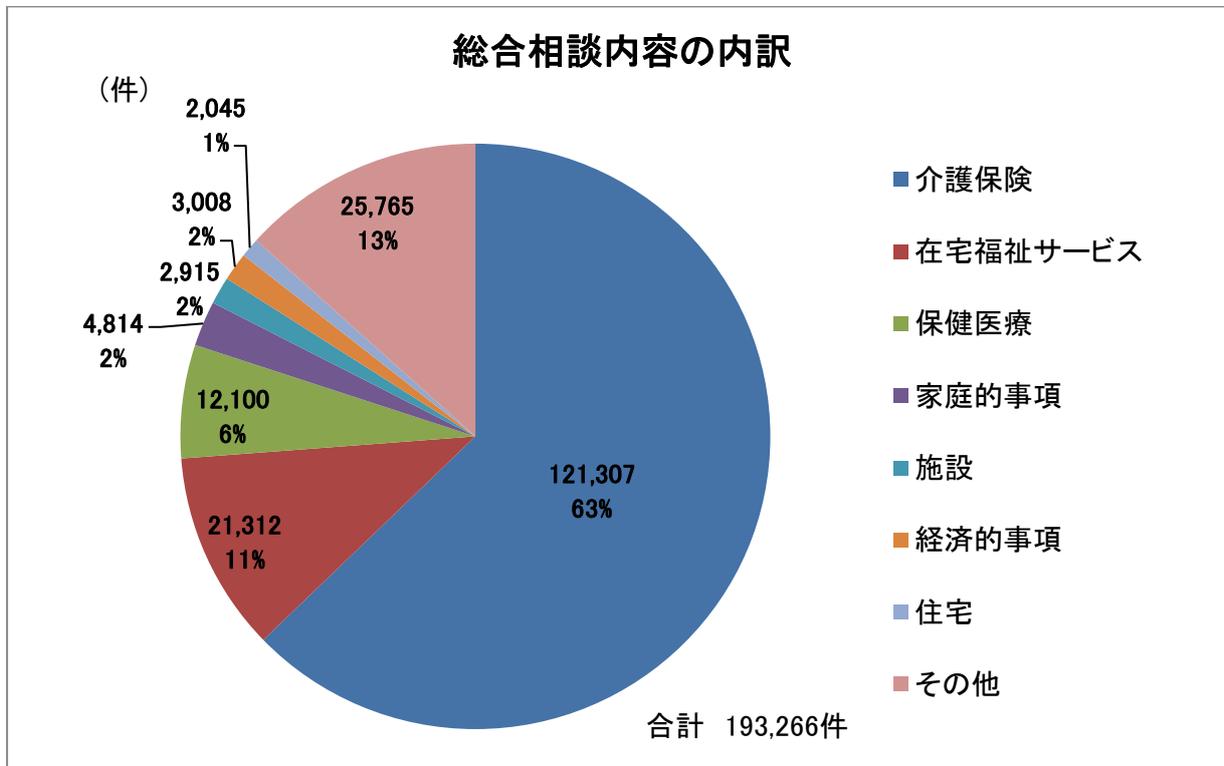
地域別では、圏域内高齢者人口の最も多い石神井の件数が多くなっている。



平成 30 年度上半期の相談件数は、練馬 19,080 件、光が丘 17,816 件、石神井 27,061 件、大泉 15,687 件であった。

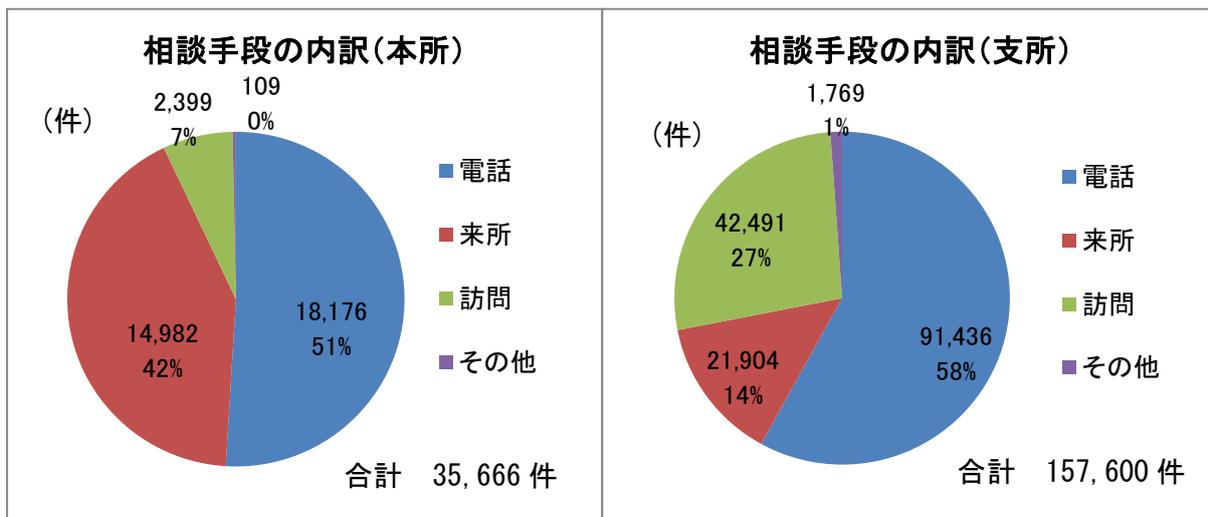
3 総合相談内容の内訳（平成 29 年度） ※延べ件数と割合

相談内容としては、介護保険に関する相談が最も多く、在宅福祉サービスに関する相談が続いている。



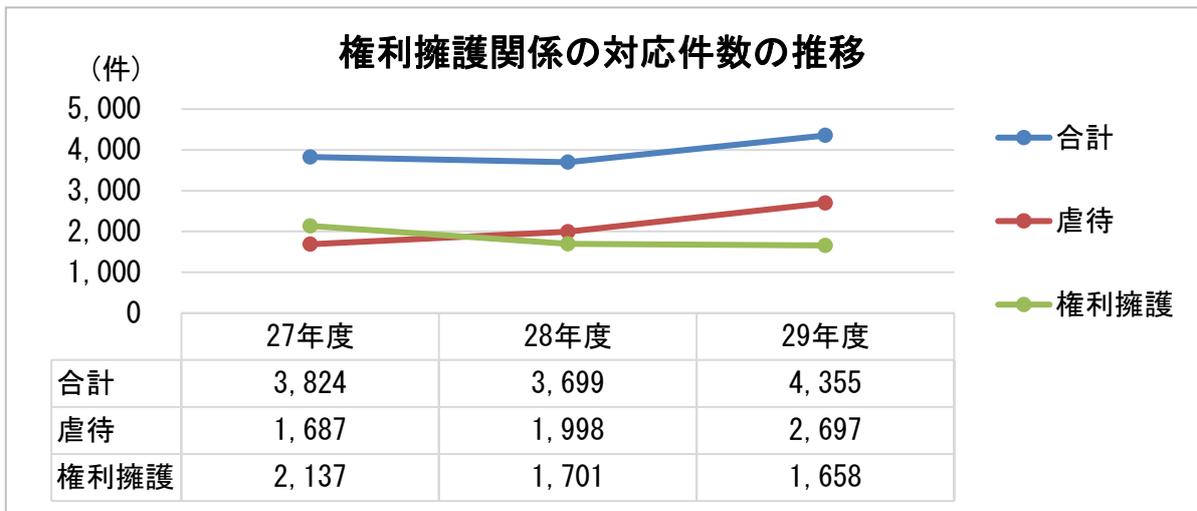
4 相談手段の内訳（平成 29 年度） ※延べ件数と割合

相談手段は、本所・支所ともに電話による相談が最も多かった。また、本所では来所による相談が多いのに対し、支所では職員による高齢者の自宅等への訪問対応が多かった。



5 権利擁護関係の対応件数の推移 ※延べ件数

平成 29 年度の虐待対応件数は 2,697 件で、前年度より 699 件増加した。その他の権利擁護（成年後見、消費者被害等）の対応件数は 1,658 件で、前年度より 43 件減少した。

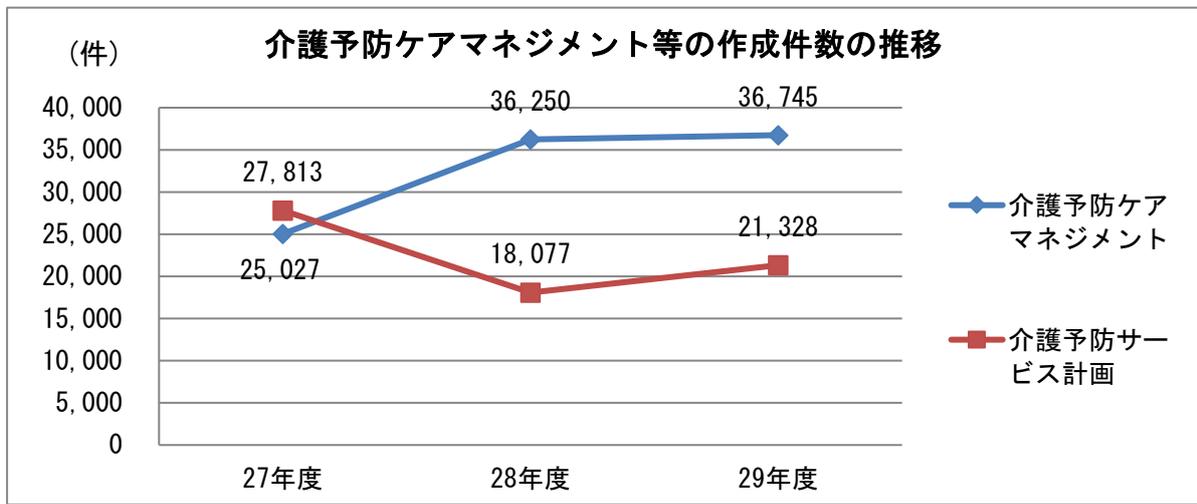


平成 30 年度上半期の権利擁護関係の対応件数は、全体で 2,832 件であった。

（内訳）高齢者虐待 1,758 件、その他の権利擁護 1,074 件

6 介護予防ケアマネジメント等の作成件数の推移 ※延べ件数

平成 29 年度の介護予防ケアマネジメント作成件数は 36,745 件で 495 件減少したが、介護予防サービス計画の作成件数は 21,328 件で、前年度より 3,251 件増加した。



平成 30 年度上半期の作成件数は、介護予防ケアマネジメント 17,957 件、介護予防サービス計画 11,536 件であった。

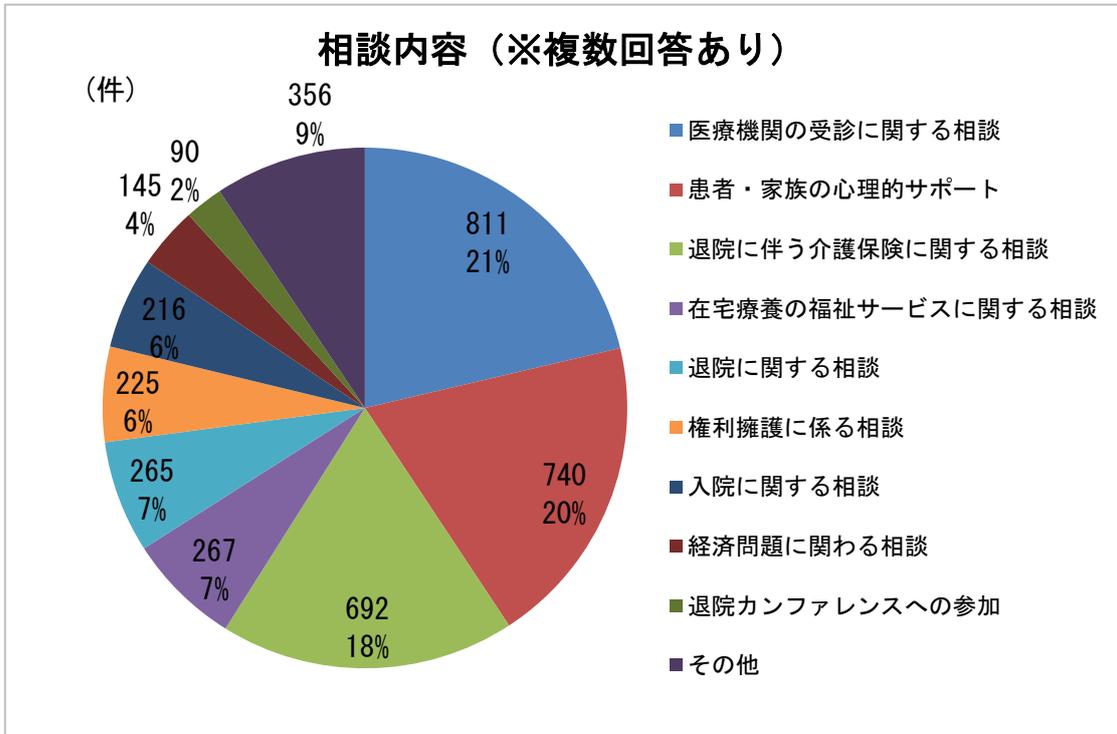
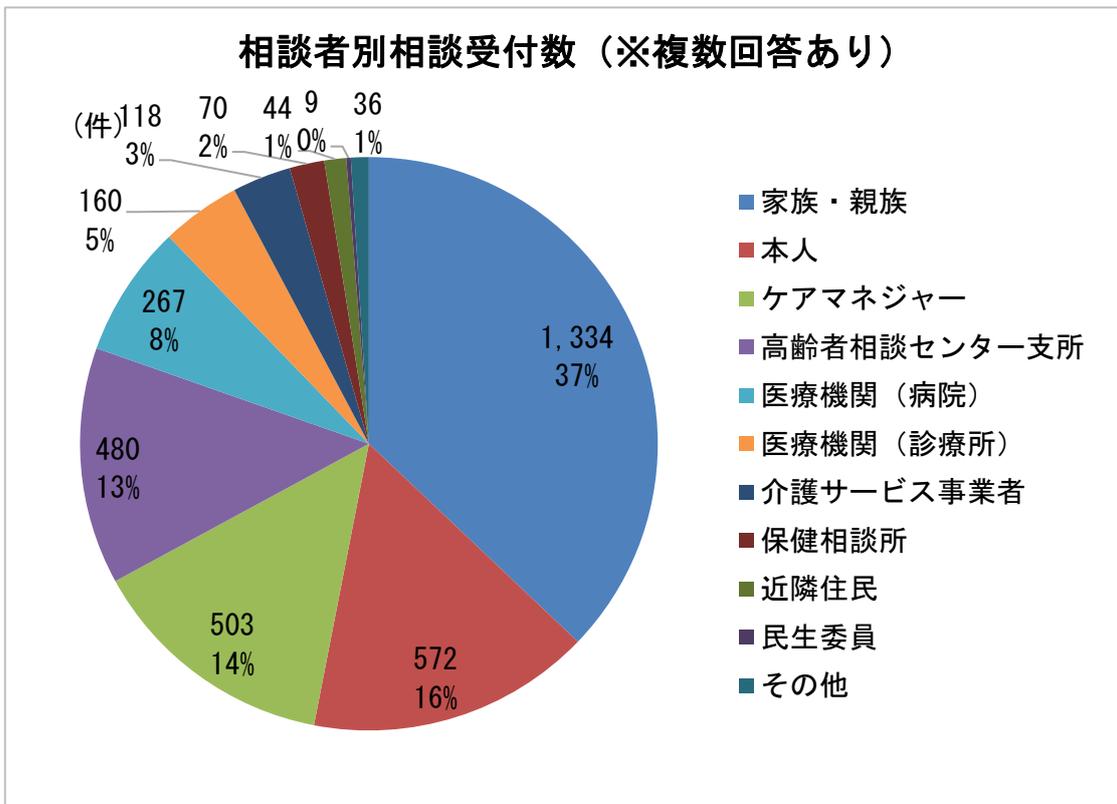
※ 介護予防ケアマネジメント

要支援 1、2 の認定、または健康長寿チェックシートにより事業対象者に該当した高齢者が、練馬区の介護予防・生活支援サービス（訪問サービス、通所サービス等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）。

※ 介護予防サービス計画

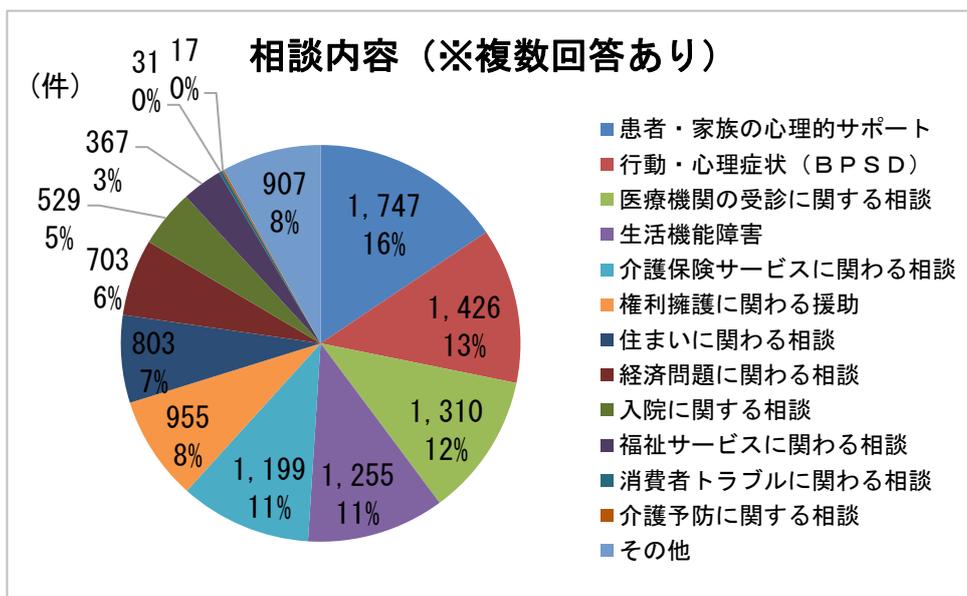
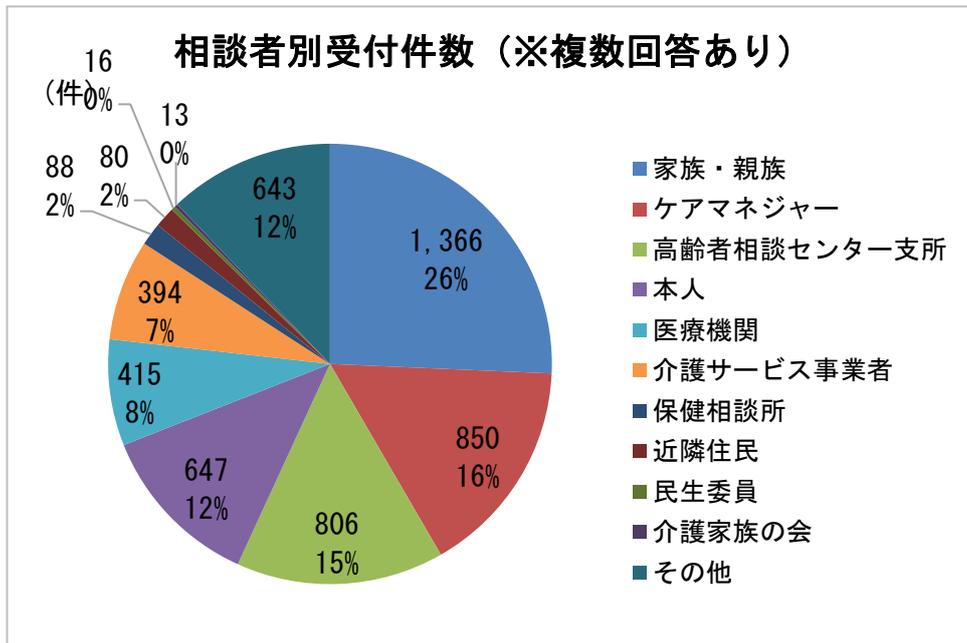
要支援 1、要支援 2 の認定を受けた高齢者が、主に介護予防給付のサービス（介護予防福祉用具貸与、ショートステイ等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）。

7 医療と介護の相談窓口（本所4か所）における在宅医療・介護相談実績 ※延べ件数  
 平成29年度の在宅医療・介護相談件数は、3,593件であった。



平成30年度上半期地域包括支援センター25か所の相談件数は、延べ6,114件であった。

8 医療と介護の相談窓口（本所4か所）における認知症相談件数 ※延べ件数  
 平成29年度の認知症相談件数は、3,039件であった。



平成30年度上半期地域包括支援センター25か所の相談件数は、延べ2,924件であった。

9 訪問支援事業（中村橋支所、高野台支所、南大泉支所の3カ所で実施したモデル事業）  
 平成29年度にモデル事業として実施した訪問支援事業での訪問数は、延べ2,646人であった。

平成30年度上半期地域包括支援センター25か所の訪問数は10,940件であった。